

調査団体名	豊田市自然愛護協会	団体代表者名	光岡金光(顧問)
活動地域	豊田市	団体URL	なし
<p><活動内容></p> <p>豊田市自然愛護協会(特に淡水魚類研究会)では、主に次の2つの活動を行っている。</p> <p>○調査活動 継続的に、市内の魚類相調査を行っている。豊田市は周辺町村と合併したため、現在は、新市部の魚類相調査を中心としている。またアユの生活史調査なども行っている。</p> <p>○啓発活動 主に子どもを対象としたイベントを他団体と連携して開催し、子どもやその親の川への関心を高める活動を行っている。特に子どもかいぼり大会では、採集した魚類は同定後、生態等を概説。その後、魚の種類に応じて適した料理法で調理し、食べるという一連の体験をすることで、五感すべてを使って、川や魚を感じ取ることができている。</p>			
<p><連携している団体・専門家・自治体など></p> <p>○各種啓発活動は、矢作川漁協、矢作川学校、矢作川天然アユ調査会と協働で行っている。</p> <p>○調査活動は豊田市文化財課と連携して行っている。</p> <p>また、矢作川・境川整備計画検討委員として河川事業の策定に関わる。</p>			
<p><今までに行った調査・研究></p> <p>○豊田市の淡水魚類相調査(1996～2003)「豊田市の淡水魚類」</p> <p>○矢作川天然アユ調査</p>			
<p><現在直面している課題></p> <p>○新市部はかなりの面積があるが、魚類相調査は4人だけで行っており、とても追いつかない状況である。</p> <p>○外来種の駆除が当面の課題として存在する。特に矢作川では近年、アメリカナマズの存在が確認されており、一刻も早く対策をとる必要がある。</p> <p>○自然、歴史文化の集積地でありながら活動の拠点となる総合博物館がない。</p> <p>○調査活動予算の削減。</p> <p>○啓発活動時の外来種移入。放流したアマゴやアユが生態系に悪影響を及ぼす可能性がある。</p>			
<p><今後どんな情報が必要か></p> <p>アメリカナマズやオオクチバス等の外来種の駆除方法について。</p>			
			
川干しの様子		エコキッズのイベント	